

探せ! 魅力ある不動産 事例に見る 倉庫再生による収益アップ

高まる倉庫ニーズに呼应を

不動産価格が上昇を続けるなか魅力ある投資物件を見つけるにはどうしたらいいのか。今回は倉庫というキーワードで収益をアップさせた事例を見ながら、あらためて「倉庫」の魅力と、それを投資にどう生かすかについて考えてみたい。

倉庫リノベーションによる収益向上事例

倉庫リノベーション事業を展開するイソコグループ(東京都港区)が行う「コバ RE」(東京都港区)の「第3東運ビル」の8階に「コバ RE」を開業する。このビルは、本社を置く「第3東運ビル」の8階に8階にスモールオフィス「コバ RE」を開設する。同ビルでは、

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って



「コバ RE」の貸室と共用スペース

「コバ RE」が完成し、一般にリリースされた。現状は申し込みベースで満室状態と、出足は好調だ。イソコグループの再生・運営により、画期的に収益アップも

「コバ RE」の再生・運営により、画期的に収益アップも

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って

いたテナントがビル内別のフロアに移転したこともあり、先行的に内装を選べる「DIYオフィス」として3室企画したところ、一般募集を行う間もななく入居者が決定。それを踏まえ、今年2月には4室(8・26坪、12・77坪)のスモールオフィスとデスクプラン(6席)が完成し、一般にリリースされた。現状は申し込みベースで満室状態と、出足は好調だ。イソコグループの再生・運営により、画期的に収益アップも

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って



元は倉庫のブルーボトルコーヒー

イソコグループ



金長 大谷 一氏

既存の倉庫物件の流通は現状ではまだまだ少ないと感じています。その理由のひとつが、その理由のひとつが、不動産業界ではまだ倉庫について知られていないことが多いことになって支持していることです。

「コバ RE」は、入居者から打ち合わせや自由がオフィスの内装をカタに使えるワークスペースを供えた共用ラウンジとログから選んで思い思いのオフィスを実現できるというの大きな特長だ。企画・プロデュースは、新たなスモールオフィスを展開するツクルバ(東)だ。折しも8階を使って

オフィスより安く仕入れ利回り向上も可能